

令和 年 月 日 令和 年 月 日
贈与税 申告書（〇〇年分・事業年度分・）に係る

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面 33の2①

					※整理番号			
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称		税理士 国税 太郎 印					
	事務所の所在地		〇〇市〇〇町〇-〇-〇 電話（〇〇〇）〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
書面作成に 係る税理士	氏 名		税理士 国税 太郎 印					
	事務所の所在地		〇〇市〇〇町〇-〇-〇 電話（〇〇〇）〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
	所属税理士会等		東北 税理士会 〇〇支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号					
税務代理権限証書の提出			☒ （ 贈与税 ） ・ 無					
依 頼 者	氏名又は名称		〇〇 〇〇					
	住所又は事務所の所在地		〇〇市〇〇町〇-〇-〇 電話（〇〇〇）〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。								
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項								
帳簿書類の名称				作成記入の基礎となった書類等				
土地・建物の評価明細書				土地建物評価証明書、公図、測量図、住宅地図、登記事項証明書等				
2 提示を受けた帳簿書類（備考の帳簿書類を除く。）に記載されている事項								
帳簿書類の名称				備 考				
※事務 処理欄	部門	業種			意見聴取連絡実績		事前通知等実績	
					年 月 日	税理氏名	通知年月日	予定年月日
					・ ・		・ ・	・ ・

		※整理番号	
3 計算し、整理した主な事項			
	区 分	事 項	備 考
(1)	土地	贈与の対象となっている土地について、現地を確認し、登記事項証明書、実測図を検討し、適正に評価した。 当該土地は、受贈者の所有の建物（受贈者の自宅）の敷地となっているが、地代の収受は行われていないことから、自用地として評価している。 また当該土地は、2つの路線に接しているが、側方については、水路となっており蓋もされていないことから、側方路線影響加算額の計算を行っていない。	登記事項証明書、固定資産税評価額明細書、公図、実測図等 贈与の対象となったものの価格等について、具体的に確認した事項やその計算の根拠を記載することにより、調査省略等の参考となる。
(2)	(1)のうち顕著な増減事項	増 減 理 由	
(3)	(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項	変 更 等 の 理 由	

※整理番号	
4 相談に応じた事項	
事 項	相 談 の 要 旨
相続時精算課税	相続時精算課税制度の適用について相談があり、適用手続等の他、いったん選択すると選択した年以後贈与者が亡くなる時まで継続して適用され、暦年課税に変更することはできないなどの注意点等について説明した。
5 その他	
○当税理士事務所は、○○○申告書作成システムを利用している。 ○総合所見 依頼者の書類の管理、保管の状態は良好である。 申告書は法令の規定に則して作成した。	